

V-style Ver.3の新機能

V-style 連携関連

明るさの自動調整（おまかせ）

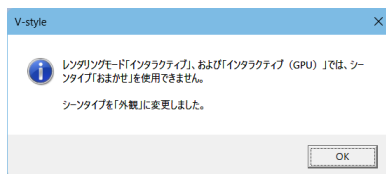
レンダリング設定パネルに明るさを自動で調整する「おまかせ」を追加しました。

明るさの調整に手間のかかる内観や、ライトを用いた夜間のパースなどに有効です。

※初期値は「外観」です。

※連携実行後も調整可能です。

※プロダクション専用です。



レンダリング・効果関連

明るさの自動調整+数値調整

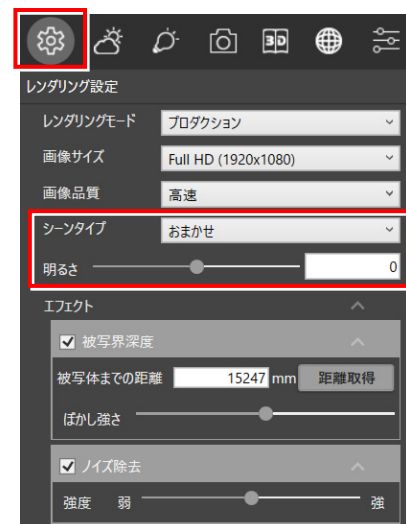
レンダリング設定パネルの「シーンタイプ」に明るさを自動で調整する「おまかせ」を追加しました。特に明るさの調整に手間のかかる内観や、ライトを用いた夜間のパースなどに有効です。

また、数値による調整が可能になり、「おまかせ」でも明るさ調整が可能です。

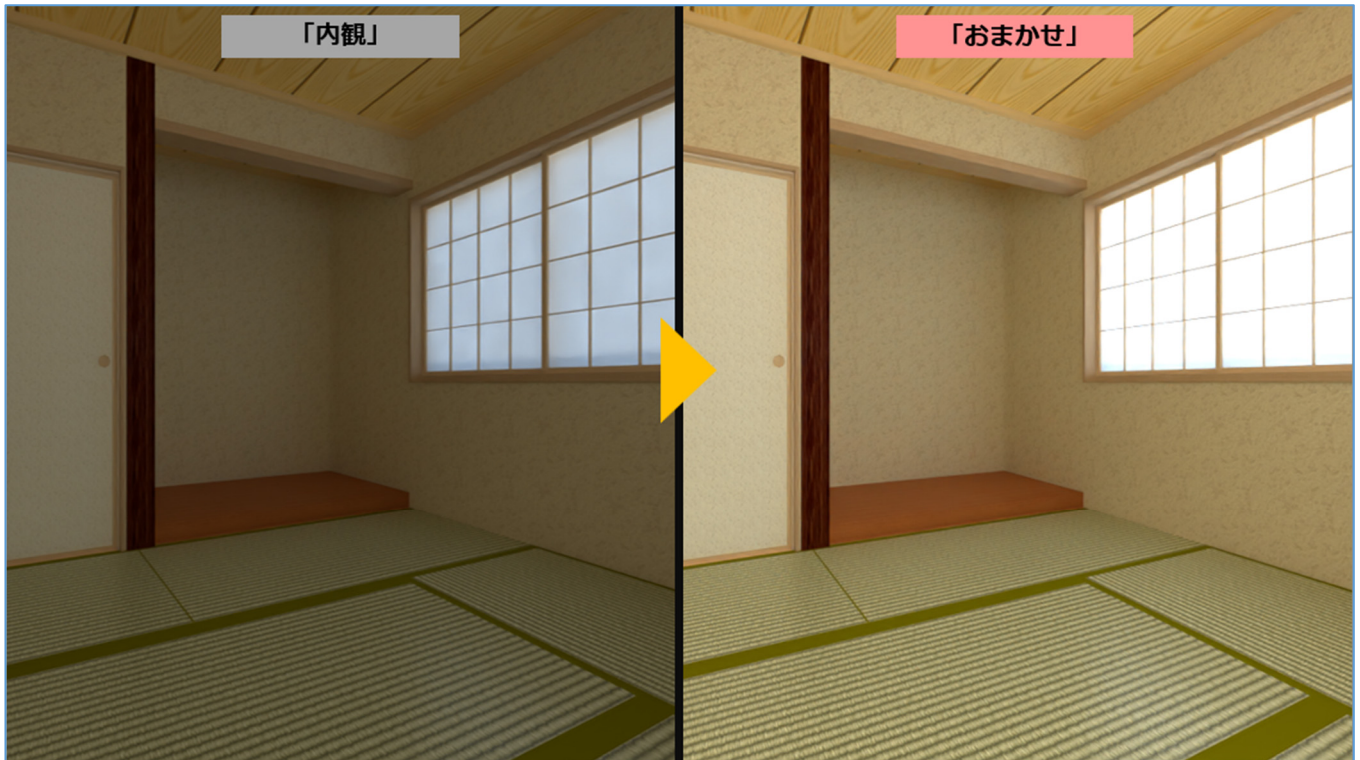
※明るさの数値による調整は、

「-3」～「3」（暗い～明るい）の範囲で可能です。

「0」が推奨値で、シーン切り替え時に「0」にセットされます。



※ 「おまかせ」による明るさの調整例（内観）



背景：高品質 HDRI の拡充

背景の森や人工物がない地平線と空のみの HDRI を 20 種類以上追加しました。背景に余計な情報が無い分外観が引き立ちます。

「背景」の「選択」や「V-style 連動」から設定することができます。

また、多種の HDRI から検索しやすい様、「フィルタ」機能を追加しました。チェック ON にした HDRI イメージのみが「プロパティ」一覧に表示されます。一覧からクリックして選択・設定してください。

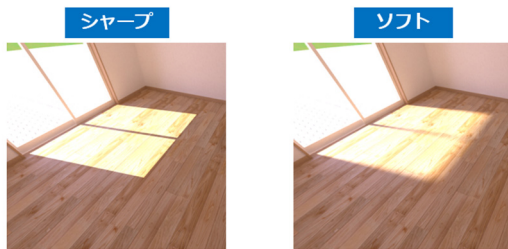


背景・太陽位置：影の柔らかさ

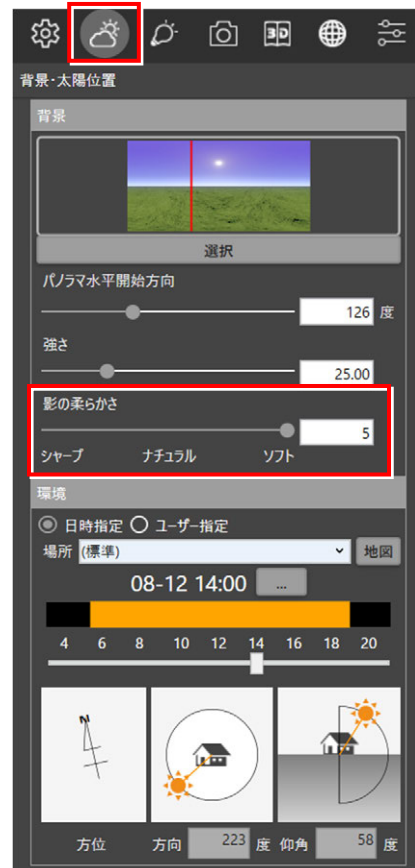
背景が HDRI 以外の場合、影の柔らかさを手動で調整できるように拡張しました。シャープからソフトまで好みの影の表現が可能です。

(「ライティング」の「光源設定」と同)

シャープ：メリハリの効いた雰囲気
ソフト：より自然で空気感のある雰囲気



より施主のイメージに合わせた住宅プレゼンが可能



ライティング：照明（光源・影）の表現改良

「ライティング」パネルの「光源設定」に「影の柔らかさ」スライダーを追加しました。

シャープな影やソフトな影が設定できることで表現の幅が広がります。(次ページ：サンプルイメージ)



※面光源・線光源には、影の柔らかさの設定はありません。



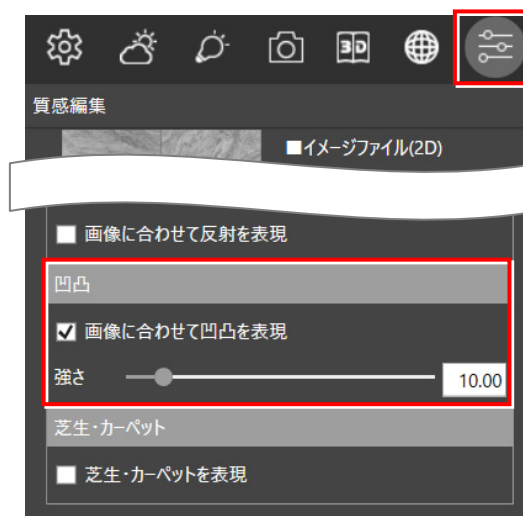
質感編集：凹凸表現の向上

外壁の目地や凹凸感がよりリアルに表現できるように質感を向上しました。

※凹凸の強さの設定値の上限を大幅に引き上げました。

※Ver2 で質感を変更しているデータの場合は Ver2 でレンダリングした結果と同様の凹凸感になります。

※Ver3 で保存したデータは Ver2 では使用できません。



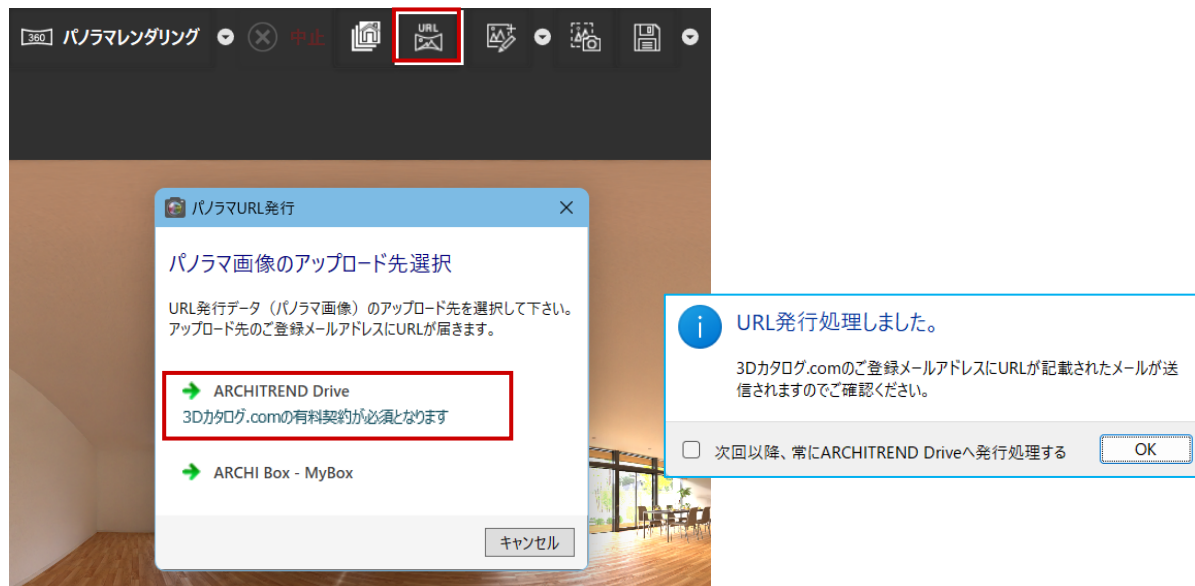
V-style Ver3



画像・印刷関連

パノラマ URL 発行 : ARCHITREND Drive 対応

パノラマ URL の発行先に 3D カタログ.com サイトの ARCHITREND Drive (ATDrive) に対応しました。



3D カタログ.com の有料会員 (有料契約)

2024/10/1 より、有料会員のプラン名が「プロフェッショナルプラン」に統一されました。(A プラン・B プラン → プロフェッショナルプラン) →サイトヘルプへ